

# 里塚斎場の再整備に関する説明会（第2回）【議事概要】

## 1 日時

令和7年11月24日（月）15時00分から16時18分まで

## 2 場所

里塚町内会会館（札幌市清田区美しが丘1条8丁目7-3）

## 3 主催者

札幌市

## 4 出席者

- (1) 札幌市 保健福祉局ウェルネス推進部施設担当部長  
保健福祉局ウェルネス推進部施設管理課長  
保健福祉局ウェルネス推進部施設管理課斎場担当係員
- (2) 住民等 約26名

## 5 説明会概要

- (1) 主催者挨拶（施設担当部長）

- (2) 説明（施設管理課長）

### ア はじめに

- ・ 里塚斎場は、供用開始から40年以上が経過し、老朽化が進行しています。
- ・ 市内の火葬件数は、令和36年頃まで増加することが見込まれます。
- ・ 市民の火葬需要に安定的に応えるため、老朽化した里塚斎場の再整備について検討しています。
- ・ 清田区町内会連絡協議会会長会議には事前に説明し、説明会については了解を得ていますが、地下鉄東豊線の清田区への延伸が実現していない状況で、住宅地に近い場所への建替えは受け入れられないとの意見をいただいている。
- ・ 市の火葬場の現状、課題、再整備の検討状況を説明し、率直な意見を伺いたいと考えています。

### イ 市内の火葬場について

- ・ 里塚斎場（南東）と山口斎場（北西）の2斎場体制で対応しており、それぞれ豊平川を挟んだ東側と西側のエリアを主な利用区域としています。
- ・ 里塚斎場の立地選定の経緯については、昭和50年代に平岸火葬場の老朽化等のため火葬場新設が計画され、市内複数の候補地から、切土や盛土を必要としない地形・地勢であることや主搬入路が住宅地を通らないこと等を総合的に評価し、里塚が最適地として選定されました。
- ・ 里塚斎場の建設にあたり、地元町内会からの反対意見がある中、清田地区町内会連合会が設置した特別委員会での検討を経て、清田区の分区や地下鉄東豊線延伸など14項目について、市が善処することを条件に斎場建設を容認するという内容の要望書が提出され、昭和56年3月に建設の了承を得ました。
- ・ 要望事項のうち、清田区の分区や羊ヶ丘通・北野通の全面開通などは実現したが、公立大学の誘致や地下鉄東豊線の延伸は実現に至っていません。
- ・ 地下鉄東豊線延伸については、現在も地下鉄東豊線建設促進期成会連合会が活動しており、要望書を提出しています。市長は、地域の熱い思いとバスの減便で不便になっている現状を重く受け止めていますが、将来にわたり赤字が膨らむ計画は責任を持った形で作れないことから、現在はいろいろな形で調査等を含めて動いている段階であるといった趣旨の回答をしており、清田地区町内会連合会各会長からは進展がないことに不満の声があります。
- ・ 山口斎場の立地については、豊平川西側を主な利用エリアとして、里塚斎場との位置関係も考慮のうえ、複数の候補地から手稲山口が候補地として選定されました。

## ウ 火葬場の課題について

- ・ 里塚斎場は築40年で、火葬炉も令和16年頃には入れ替えが必要となります。山口斎場も令和18年頃には全面改修が必要となります。
- ・ 令和6年度の市内火葬件数は26,400件で、里塚・山口それぞれの火葬能力を超えていました。山口斎場が全面改修で休止した場合、里塚斎場だけで市内の火葬需要（最大令和36年に32,800件見込み）に対応することは困難です。

## エ 再整備について

災害時のリスク分散や利用者の利便性を踏まえると、現在の里塚・山口の2斎場配置が最適であり、里塚斎場の再整備は里塚で行う必要があると考えています。

## オ 新斎場の整備候補地について

現里塚斎場の敷地内、隣接地、近接地（里塚霊園内の円形芝生広場）を比較検討しました。

## カ 整備候補地の比較検討について

- ・ 敷地内は、現斎場と同位置であり周辺住環境への影響が少ないですが、現斎場稼働中の工事となり、利用者の安全確保や駐車スペース確保が困難で、設計の自由度が低く、また、工事中の騒音で現斎場の静謐性が保てない恐れがあります。
- ・ 隣接地は、敷地内と同様、周辺住環境への影響が少ないですが、急傾斜地のため盛土造成が必要となり、地盤沈下や土砂災害リスクがあり、工事中の安全確保が困難で、樹木の伐採による自然環境への影響が懸念されます。
- ・ 近接地の円形芝生広場は、平坦な地形で盛土造成が不要で災害リスクが低く、また、現斎場と一定の距離があり、工事中の会葬者の安全や駐車スペースの確保ができる一方、現斎場から住宅地側に約450m近づくこととなるため、工事中の騒音・振動、完成後の景観への配慮が必要です。
- ・ 災害リスクの低減と会葬者の安全確保を前提として比較した結果、敷地内や隣接地での再整備は難しく、周辺住環境に配慮しつつ円形芝生広場を整備候補地とすることが最適であると判断しました。

## キ 里塚斎場（現斎場と新斎場）と山口斎場の中長期整備スケジュール

- ・ 新斎場は、令和17年の供用開始を目指しています。
- ・ 山口斎場は、令和18年頃から大規模改修が必要となるため、改修期間中は現斎場と新斎場の2斎場で対応します。
- ・ 現斎場は、山口斎場の大規模改修完了後に廃止する考えです。

## ク 周辺環境への配慮について

- ・ 景観等：植樹による目隠しなどを検討します。また、工事中の騒音などに配慮します。
- ・ 環境対策：ダイオキシン等の抑制効果の高い設備を導入します。燃料には灯油よりクリーンな液化天然ガス（LNG）などを検討し、ばい煙等の環境対策を強化します。
- ・ 周辺道路：火葬需要を平準化する取組を継続します。山口斎場の大規模改修を全面休場せずに方法や工期短縮を検討し、改修期間中の里塚への火葬集中を緩和する策を検討します。

## ケ 合葬墓の新設・里塚霊園管理事務所の建替えについて

- ・ 里塚霊園管理事務所は、築50年以上が経過し、老朽化が著しい状況です。
- ・ 平岸霊園の合同納骨塚は、需要の高まりから令和9年度には受入れ限界を迎える見込みです。
- ・ 合同納骨塚については、延命措置を検討しているが、将来的には新たな合葬墓の設置が必要な状況のため、老朽化している里塚霊園管理事務所の建て替えと、里塚霊園内への合葬墓の新設を同時に進行方向で検討しています。

## コ 前回の説明会でのご意見について

- ・ 里塚斎場の再整備の必要性は理解できるが、円形芝生広場は住宅地に近すぎるので、隣接地を中心検討してほしい。

- ・ 合葬墓や管理事務所も住宅地に近すぎる。
- ・ なぜ里塚で再整備をするのか。
- ・ 円形芝生広場の地盤は大丈夫なのか。
- ・ ダイオキシンなどの健康被害がない形での計画としてほしい。
- ・ 靈園周辺は、お盆時期を中心に大渋滞が発生し、生活道路の通り抜けも多いので対策をしてほしい。
- ・ 清田区は、里塚靈園・斎場を受け入れ、多大な貢献をしているのだから、せめて地下鉄を通してほしい。
- ・ 説明会で出された意見等に対しての答えをいただく機会を設けてほしい。

### (3) 質疑応答

#### ○ 発言者A

- ・ 円形広場ありきのようなストーリーになっているような気がする。他に良い案が無いのか。将来の札幌の人口を考え、全国的に人気のある札幌、道内でも人気のある札幌、将来火葬件数が4万弱になるという計算に疑問がある。
- ・ 山口と里塚の2斎場体制が最適と言っているが、この改修計画を見ると非常に急を要すると思ってしまう。人里離れた第3の斎場を先に作ったほうが良いのではないか。何か起きた時に何とか斎場を運営できるような形をとることが一番良いのではないか。長期的に札幌市の人団動態を考え、第3の斎場をうまく回していくことを考える必要があるのではないか。
- ・ それから、もう一つ疑問なのが、現在の斎場の場所。山口に先に作ってしまって、山口で札幌全部を賄える状態を作り上げ、里塚を改修するという案が一つも出てきていない。現状の場所を生かすという案がない。

#### ○ 施設管理課長

- ・ 今後の火葬件数については、人口動態なども考慮して、火葬件数の予測をしています。令和36年には約32,800件となる見込みです。火葬件数はそこでピークを迎え、それからは緩やかに火葬件数が減っていくだろうというところを予測しています。そのピークに向けて、火葬場の能力が不足しないような形での再整備を検討しているところです。
- ・ それから、札幌市の火葬場につきましては、里塚斎場の火葬路は30炉、山口斎場が29炉ということで、この規模で約32,800件の火葬を賄っていくということになります。すでに大きな火葬場があり、この2斎場で今後も火葬をしていきたいと考えています。
- ・ 第3の火葬場について、これまで特に計画はないのですが、例えば1斎場を休場するためは、今の火葬場と同じ30炉程度の火葬場が必要になり、最終的に一つ過剰に火葬場ができてしまうということになります。札幌市では現状の2斎場体制が最適だと考えています。
- ・ 山口斎場を先に整備できないかというご提案につきましては、現在の山口斎場は建設から20年ったところです。これから十年後に火葬炉を入れ替え、建物自体はまだまだ使っていくということを考えています。山口に新たにもう一つ斎場を整備した場合、山口の2斎場を使っていくことになります。そうなると、里塚斎場が無くてもよくなるかもしれません。そうなった時には、山口のみでの火葬となり、災害時のリスク分散ですか、札幌市の東側の方の利便性等を考えた時には、なかなかそれも難しく、現在のような検討結果となった次第です。

#### ○ 発言者A

- ・ しっかりと検討したのか。現状の位置でも我々は不満があるが、仕方がないと我慢している。我慢した結果が、住宅に差し迫ってくるような形で検討されてるというのが疑問でならない。市議会でも議論されたのか。議論すれば、賛成する人はそんなに多くいるとは思わない。

#### ○ 施設管理課長

- ・ 検討した結果、現状での札幌市の考え方として、ご説明をさせていただいたところで、市議会での議論には至っていません。

#### ○ 施設担当部長

- ・ 我々としては、里塚靈園内の再整備をお願いしたいと思っており、その中で候補地である近接地、現在地、隣接地を挙げさせていただいている。

- ・ 我々の検討の中では、工事費用、災害リスク、リスク分散、周辺の住環境、植樹や近代的なデザインなどの景観等への配慮、環境に充分配慮した形にすることなどを考慮した上で、近接地（円形芝生広場）が良いのではないかということで今のご説明をさせていただいている。
- ・ また、札幌市として近接地（円形芝生広場）にすると決めているというわけではなく、皆様のご意見をお伺いさせていただく中で、札幌市として今後どのように火葬需要に応えていくのかということを考えながら、どこに整備するのかということを決めさせていただきたいと思っています。このような忌憚のないご意見をいただくのが大事なことなのかなと思っていますので、ご意見いただいたことについては、大変ありがとうございます。

○ 発言者B

- ・ 前回の里塚斎場ができる時も、市の方はそのようにお話をしていた。皆さんのご意見を聞いて、それで里塚斎場ができるということだった。当時、私たちは反対していたが、市から、清田には地下鉄がないので地下鉄を入れるという提案があり、それで私たちは了承した。
- ・ 今回の説明の中で、地下鉄に関する話が一切出てこない。トップが変わったら、どの程度の申し送りがあるのか。地下鉄の話はしっかりと引き継がれているのか。皆さんはこの斎場についての経緯や資料を調べて、読み込んで、こういうところに来ているはずだと思っているが、前回の説明会でも地下鉄の話がなかったというふうなお話を聞いている。約束はどうなったのか。
- ・ 再整備の候補地について、清田区では胆振東部地震の時に崩れたり、地盤沈下などの被害が多数発生した。候補地が安全なのかどうか、図面上だけではなく、地域の方の声を聞く必要があるのでないか。
- ・ まずは、一番最初の約束が叶えられていないということを考えて、再検討すべきではないか。

○ 施設担当部長

- ・ 確かにおっしゃられたとおり、当時里塚に斎場を整備したいという意向を我々が示した際に、地域の皆さんから清田区の分区や地下鉄東豊線延伸など14項目について、市が善処することを条件に斎場建設を容認するという内容の要望書が提出され、昭和56年3月に建設の了承を得ました。
- ・ それがいまだに実現していないということについては、ご指摘のとおりです。私としても非常に心苦しいとは思っているところで、今でも期成会の皆様方が精力的にご活動していただき、毎年、市長に要望を上げていただいています。
- ・ 今回パーソントリップ調査を行うことになっていますので、調査結果を踏まえながら、総合的に判断していくことになろうかと考えています。この場でいただいた地下鉄に関するご意見もそうですが、いただいたご意見については、我々で受け止めるだけではなく、庁内全体で共有した上で、今後のありようを検討させていただきたいと思っています。申し訳ありませんが、地下鉄に関してお答えできる立場にはございませんので、今はご意見として承らせていただきます。

○ 発言者C

- ・ 要望書の14項目のうち何項目完了しているのか。

○ 施設管理課長

- ・ 皆様がどう感じるかというところはありますが、地下鉄東豊線の早期完成促進、公立大学等の誘致以外は整備がされているものかと思っています。

○ 発言者D

- ・ 円形芝生広場の案に反対。資料に記載のデメリットの中に民地と距離が近くなるとある。これが非常に問題だと思っている。斎場が近くになることで、住民感情的に受け入れられないということを評価に入れるべきではないか。一番近い住宅から150mくらいになるのではないか。
- ・ 合葬墓については、20～30mくらいしか離れていない。本来であれば、この場所は緑地帯を作るような場所ではないのか。
- ・ 今の里塚斎場を建てたときは、周辺に住民はほとんどいなかった。反対運動があつたりしながらも合意して、建設することができた。そして、今は住民と靈園でバランスがとれている。その中で、斎場を民地側に近づけるというのは、非常に近隣住民を無視しているように感じる。

- ・ いろんな難しい問題もあると思うが、現斎場の裏地を造成して、建てるということを最優先で検討してほしい。その場合、山口斎場の改修時には一時的に山口斎場と里塚斎場の二つ分の駐車場を整備することになり、大変ではある。それならば、山口は山口で、里塚は里塚で改修工事を行えるような体制があれば、駐車場とか交通量とかは現状と変わらない。そういう改修工事をしてもらいたい。
- ・ 里塚のみで2年間対応した場合、ダイオキシン、交通量、風評など大きい変化がある。少なくとも現斎場の裏手に建設してほしい。私も現場を見たが、十分建設できると思う。ただ、2斎場分の駐車場となった場合、狭いというところはある。
- ・ それともう一点、ものすごい交通渋滞が起きている。現在、斎場には羊ヶ丘通りと里塚1号線の交差点から続く一本道となっており、お盆などのシーズン中は大渋滞が起きている。特にコストコやアウトレットも近くにあり、周辺の住民は渋滞で外に出られないこともある。渋滞時にショートカットで町内を通り抜けている車両もいる。靈柩車まで町内を通ることがある。山口斎場の改修工事に伴い、山口と里塚の2斎場分を収容する交通量を考えると、検討が足りていないのではないか。
- ・ 合葬墓についても、来園者がものすごく増えると思う。現斎場は住民のことを考慮して建てられたと思うが、この検討案は近隣住民の考慮、交通量の検討、地下鉄の検討が入っていない。建物、斎場、運営の検討だけではなく、もっと広い範囲で検討を行っていただきたい。

○ 施設管理課長

貴重なご意見、ありがとうございました。

○ 発言者E

人口動態なども考慮して、火葬件数の予測をしていると言っていたが、近隣の自治体からも火葬を受け付けているのか。

○ 施設管理課長

札幌市では近隣の市町村の火葬も受け入れており、里塚斎場については、特に北広島市民の方の火葬を多く受け入れています。里塚斎場では、年間12,000件から13,000件ほど火葬をしていますが、そのうち北広島市の方の火葬件数は約600件程度です。火葬件数については近隣自治体からの受け入れも含めて、令和36年に約32,800件に達すると推計しています。

○ 発言者E

他の自治体では1週間も火葬を待たされことがあると聞いていたので、他の自治体からの受け入れも考慮して、火葬件数を推計しているということはありがたい。

○ 発言者F

真栄方面の道路を拡張することは考えていないのか、お盆の大渋滞を経験してほしい。

○ 施設管理課長

真栄方面の道路を拡張するというような具体的な計画、検討は聞いたことはありません。

○ 発言者G

近年、私たちの町内会では子供たちが増え、昨年から子供会が活動するようになった。円形芝生広場では子供たちが遊んでいる姿をよく見かける。自転車の練習、ウォーキング、子供を育てる環境や憩いの場が無くなるのはどうなのかと思う。

○ 施設管理課長

円形芝生広場が皆さんの憩いの場になっているということですね。ご意見、ありがとうございました。

○ 発言者H

山口斎場の改修について、炉の数だけで言えば、里塚と山口の半分の炉数で、市内の火葬を賄えるのではないか。山口の炉の入れ替えだけであれば、半分ずつ分けて改修工事ができるのではないか。

○ 施設管理課長

山口斎場の改修内容については、半面休場で改修工事ができないかなどの検討も行っていくことになろうかと思っています。電気設備等、完全に施設を休場しなければ工事ができない部分もありますが、できるだけ休場期間を短くするなど、半面改修も含めて里塚斎場に負担がかからないような改修方法を検討していかなければならないと考えています。

○ 発言者H

火葬炉の寿命が25年ということであれば、25年毎にこのような、改修時の問題が出てくるのではないか。長期的に両方の斎場が個別に改修工事ができる体制を整えておけば、問題無いのではないか。

○ 施設管理課長

現在の斎場では施設の構造上、個別の改修工事はできません。今後、新たな斎場を整備していくにあたり、斎場を運営しながら、半面休場などで改修工事ができるような構造にはしていかないといけないと考えています。

○ 発言者I

令和20年に現斎場解体とあるが、解体した後はどうするのか。

○ 施設担当部長

解体してからの使い道はまだ決まっていません。これから庁内でどのように土地を活用していくのか検討していくことになるかと思います。

○ 発言者J

- ・ 現状の火葬炉よりもダイオキシン等の抑制効果の高い設備を導入するとあるが、今はダイオキシンが出ているのか。
- ・ 抑制効果が高くなるのは燃料によるものなのか、それとも窯（炉）によるものなのか。
- ・ 以前、円形芝生広場にあった塔は煙突なのか。

○ 施設管理課長

- ・ ダイオキシンについては里塚斎場で測定を行い、基準値以下となっています。
- ・ 抑制効果については、炉によるものもあるかと思いますが、一番大きいのはフィルター等の改良によることが大きいと思っています。
- ・ また、円形芝生広場にあった塔ですが、火葬場とは関係なく、靈園内に給水するための給水設備として使用していました。

○ 発言者K

再整備では天然ガスを利用するのか。

○ 施設管理課長

- ・ 燃料については、検討しているところです。天然ガスの配管については一般住宅用の配管と違うため、敷設できるかというところも検討する必要があります。また、靈園付近には天然ガスの配管が来ていないため、距離が長ければ長いほど経費もかかるてくるということもあります。経費も含めて、今後検討していくことになります。

○ 発言者L

- ・ 円形芝生広場に斎場を移すのは大反対。

- ・ 厚別山本の処理場とかあるような、近隣住民への説明会が必要なさそうな場所はどうなんですか。あまり人が住んでいないような場所。もしくは市街化調整区域のような場所であれば、このような心配事や説明会をする必要がないのではないか。
- ・ 里塚の利便性が良いとは思えない。地下鉄はないが、道路が繋がっていて、バスはある。そんな場所は他にいくらでもある。火葬に来るのであれば、一般的には車で来ることになる。道路が繋がつていればどこでも良いのではないか。
- ・ 里塚の敷地内にこだわらず、他に適性度の高い場所を探したほうが良いのではないか。

○ 施設管理課長

ご意見、ありがとうございました。

以上